

年 表 - 栃木県眼科医会の50年 -

年 度	
昭26 (1951) ~	昭26.10.28(日) 日本眼科医会創立総会 (日医会館) 会長に黒沢潤三氏 (東京) 役員として当県より稲葉六郎 (理事)、原 蕃 (評議員) 日本眼科医会栃木支部 (栃木県眼科医会) 設立 支部長 稲葉六郎 支部所在地 宇都宮市一条町 稲葉方
昭37 (1962)	会員数 40名 昭和30年代の会員 創立当時の会員名簿はなく、昭和37年までの会務記録も残っていない。 23年の栃木県医師会会員名簿と36年の日本眼科医会会員名簿を参考にした 30年代の主な会員は下記の方々である。 《宇都宮市》稲葉六郎、稲葉治三郎、稲葉良康、小林千里、高田俊三、 原 圭三、原 蕃、浜田徹治、福田忠作、宮下幸一、室本亀吉 《上三川町》五木田セツ 《今市市》阿久津澄義、矢尾板榮子 《鹿沼市》高橋勝、武藤佐代子、吉沢 清 《西方村》中島十寸穂 《栃木市》石川俊郎、川辺 豊、中島義雄 《壬生町》市川 籌

	《藤岡町》松本 章 《小山市》鈴木常千代 《佐野市》斎藤信三郎、 斎藤三郎、石井章次、糸井新次郎、若林正二、店網淳子 《葛生町》大屋吉司 《足利市》赤羽泰造、大島泰三、青木嘉治、 柏瀬 茂、浅原うた子 《氏家町》加藤好夫 《大田原市》井上 太 、 原 博 《黒磯市》斎藤重弘、刈屋英子 《黒羽町》三田政夫 《烏山町》阿久津丈夫 《真岡市》成海朝輝 《市貝村》関本 進 《茂木町》大兼俊治 ・ 昭32.4 武見太郎氏日医会長に就任 ・ 昭33.4 学校保健法公布 ・ 昭33.4 角膜移植法成立 ・ 昭35.10 当会が県医師会分科会として登録
昭38 (1963)	・ 10.27(日) 栃眼医総会 (県医師会) 眼科講習会：東北大 桐沢長徳教授 懇親会 (中村) 20名出席 ・ 日眼医役員改選：当県より稲葉六郎 (常任理事) 留任 ○開業：渡辺昭司 (宇都宮市) 中静 隆 (足利市)

昭39 (1964)	・ 日眼医代議員制施行。当県より代議員に吉沢清、予備代議員に井上太選出 ○開業：木村弘一（宇都宮市）
昭40 (1965)	・ 41.3.14(日)栃眼医総会（県医師会） - 眼科講習会：横浜市立大 大熊篤二教授 - 懇親会（中村） 18名出席 ・ 日眼医役員改選：当県より稲葉六郎（理事） ○開業：田口太郎（宇都宮市） ● 物故：原 圭三（宇都宮市 S41.2.28）
昭41 (1966)	・ 42.3.12(日)栃眼医総会（県医師会） - 眼科講習会：慶應義塾大学 桑原安治教授 ・ 関東甲信越地区眼科医会連合会発足。第1回関ブ口眼科講習会を群馬県にて開催（4月）。第2回長野県（9月）。 ・ 9.10 日眼医黒沢潤三会長逝去。二代目会長に中泉行正氏(東京)就任。

	● 物故：稲葉良康（宇都宮市 S41.6.18）
昭42 （1967）	・ 日眼医役員改選：当県より稲葉六郎(理事)、原蕃(参与) ・ 日眼医会報(季刊)が「日本の眼科」と改称し、月刊となる(7月号より) ○開業：原たか子（宇都宮市）
昭43 （1968） ）	・ 6.23(日)栃眼医総会（県医師会） - 眼科講習会：岐阜県立医大 清水新一教授「私共の眼科の実際」 ○開業：柏瀬宗弘（足利市） 室本亀吉（宇都宮市） 原 孜（宇都宮市） ● 物故：福田忠作（宇都宮市 S43.10.28） ・ インターン制度廃止
昭44 （1969）	・ 6.15(日)栃眼医総会（県医師会） - 眼科講習会：順天堂大 中島章教授「眼科診療上の誤診について」 ・ 日眼医役員改選：当県稲葉六郎(理事)、原蕃(参与)留任 ○開業：松島雄二（佐野市） 久保田芳雄（宇都宮市）

	早津尚夫 (宇都宮市)
昭45 (1970)	・ 6.21(日)栃眼医総会 (県医師会) - 眼科講習会：東京医歯大 大島祐之助教授「最近における細隙灯顕微鏡とその用途」 ○開業：稲葉光治 (宇都宮市)
昭46 (1971)	・ 5.29(日)30(日) 第 7 回関東甲信越眼科学会(稲葉六郎会長)開催 (那須口イヤルホテル) - 講師および演題 1 . 前東京大教授 鹿野信一先生 「蛍光眼底撮影法から学び得た事ども」 2 . 東北大教授 桐沢長徳先生 「白内障手術の問題点」 ・ 日眼医役員改選：稲葉六郎(理事) S48まで ○開業：井上成紀 (大田原市) ● 物故：井上 太 (大田原市 S46.12.4) ・ 視能訓練士法成立 (5.14) ・ 保険医総辞退 (7 月)

昭47 (1972)	・ 9.17栃眼医総会 (金鍋別館) - 眼科講習会：自治医大 清水昊幸教授「最近の眼科手術療法の進歩」 ・ 日眼医 3 代目会長に三田弘氏(埼玉)就任 ・ 日眼医予備代議員に柏瀬宗弘就任 ・ 日眼医創立40周年記念式典 (10月) ◎ 功労者表彰：稲葉六郎、吉沢清 ・ 関ブ口会報創刊 ・ 自治医科大学開学 ○開業：深井 清 (足利市) - 田島幸男 (栃木市) - 斎藤明郎 (小山市) ・ 県医会長に大西幸雄氏(宇都宮市)就任
昭48 (1973)	・ 6.17(日)栃眼医総会 (県医師会) - 眼科講習会：獨協医大 関 亮教授「学童における色覚検査」 ・ 社保審査委員に三田政夫、国保審査委員に柏瀬宗弘就任 ・ 獨協医科大学開学 ○開業：斎藤信之 (佐野市) ● 物故：阿久津澄義 (今市市 4 月)

	阿久津丈夫 (烏山町 7.26) 青木嘉治 (足利市 11.4) ・ 老人医療費無料化実施 (1 月)
昭49 (1974)	・ 7.21(日)栃眼医総会 (自治医大) 自治・獨協両医大眼科スタッフ紹介および自治医大眼科見学 ○自治医大病院診療開始 (4.15) 清水昊幸教授、嶋田孝吉助教授、内野允、内藤誠、山本裕子講師、 柳沢仍子、青木和加、小暮正子先生 ○獨協医大病院診療開始 (7.1) 関亮教授、野中杏一郎助教授、横井俊明、森山知英郎講師、新里研二 先生 ・ 第 1 回栃眼医親睦ゴルフコンペ開催 (4.10(日)宇都宮C.C) (以降毎年 2 回開催、記録は、P 参照) ○開業：小西恒夫 (鹿沼市) ● 物故：高田俊三 (宇都宮市 S49.7.16) 宮下幸一 (宇都宮市 S50.3.19)
昭50 (1975)	・ 4.13(日)栃眼医総会 (県医師会) 眼科講習会：自治医大 嶋田孝吉助教授「難治性の眼感染症」

	・ 9.18(木)眼科顕微鏡手術の会(清水昊幸世話人 宇都宮グランドホテル)に協賛、栃木県におけるはじめての眼科の学会 ・ 獨協医大 森山知英郎講師退職(5月) 横井俊明講師退職(51年3月) ○開業：宮下 浩(宇都宮市) 関本俊男(市貝町)
昭51 (1976)	・ 日眼医学会長に須田経宇氏(東京)就任 ・ (財)栃木県アイバンク設立 ○開業：斎藤武久(黒磯市) 室本雅夫(宇都宮市) ○ 獨協医大 加藤晴夫講師着任(4月) ・ 獨協医大野中杏一郎助教授退職(52年3月)
昭52 (1977)	・ 4.3(日)栃眼医総会(県医師会) 映画「エンテロウィルスによる感染(甲野礼作監修)」を上映 ● 物故：斎藤信三郎(小山市 S52.5.26)
昭53 (1978)	・ 6.25(日)栃眼医総会(県医師会) 眼科講習会：虎の門病院眼科部長 福田雅俊博士「糖尿病性網膜症に

	対する手術療法」 ・ 栃眼医理事会 (54.3.6(火) 宇都宮市医師会館) ・ 第 1 回獨協医大眼科講演会 (54.1.20(土) 獨協医大) 講師および演題 1 . 馬嶋慶直 名古屋保衛大教授「超音波白内障手術」 2 . 湖崎 弘 大阪市 湖崎眼科院長「緑内障手術」 3 . 林 文彦 福岡市 林眼科病院長「人工水晶体手術」 (第 2 回以降の記録は、P 参照) ・ 第23回国際眼科学会(中島章会長)京都で開催 (5 月) ○小暮文雄獨協医大教授着任 (8 月) ・ 獨協医大眼科との懇談会 (11.17(金) 宇都宮ロイヤルホテル) ・ 日眼医OMA教育事業はじまる。この年は当県OMA講習会開催せず ・ 眼鏡商との懇談会 (9.27(水) 宇都宮市医師会館) ・ 日眼医生涯教育委員に原孜就任 (H4まで) ○開業：亀卦川みどり (宇都宮市) ● 物故：川辺 豊 (栃木市 54.2.12)
昭54 (1979)	・ 5.20(日)栃眼医総会 (獨協医大) 眼科講習会 1 . 獨協医大 小暮文雄教授「眼科麻酔と白内障手術」

	2 . 名大 市川宏教授「過酸化脂質と目(白内障に対する薬物療法)」 ・ 第16回関東甲信越眼科学会準備委員会 第 1 回 9.11(火)中村、第 2 回 11.13(火)宇都宮市医師会館 第 3 回 12. 12(水)中村、第 4 回 1.23(水)宇都宮市医師会館 第 5 回 55.2.26(火)宇都宮市医師会館 ・ OMAに関するアンケート調査実施 (4 月) ・ 第 1 回日眼医OMA試験 当県より19名 東京の講習会に参加 全員合格 ・ 第 2 回日眼医OMA講習会 関東 5 県共催で開始 (S55.1 ~ 4 月、東京代々木国立オリンピック青少年総合センター) 当県より31名受講 ・ 獨協医大 1 期生 3 名眼科入局(石崎道治、城山力一、千葉桂三)(5 月) ○開業：阿久津行永 (今市市)
昭55 (1980)	・ 5.24(土)25(日)第16回関東甲信越眼科学会開催 (稲葉六郎会長) (那須町ホテル) 1 . 清水晃幸 自治医大教授「硝子体手術の方法、適応、問題点」 2 . 小暮文雄 獨協医大教授「眼科救急医療について」 ・ 関東甲信越眼科学会準備委員会、反省会開催 (第 6 回 4.6(日)那須町ホテル、第 7 回 4.22(火) 第 8 回 5.13(火)宇都宮市医師会館 反省会

6.11(水) 中村)

- ・ 栃眼医理事会開催 11.14(金)、56.2.20(金)宇都宮市医師会館
- ・ 栃眼医理事会だより発刊 (第 1 号は56.2.20)
- ・ 日眼医役員改選 : 早津尚夫(理事) 就任 S57まで
- ・ 第 2 回日眼医OMA試験 当県 28名受験し全員合格
(以後のOMA関連記事はP 参照)
- ・ 自治、獨協両医大との親睦会 (S56.3.17(火)宇都宮ロイヤルホテル)
- ・ 視力回復センター対策として、県教委あて要望書作成し、申し入れ
(11.25)
- ・ 日眼医生涯教育講座開催 (第 1 回緑内障のすべて) (56.2.14(土)25
日(日) 日本教育会館)
- ・ 日眼医創立50周年記念式典 (10月)
- ◎ 日眼医表彰 : 稲葉六郎、吉沢清、稲葉治三郎
- 獨協医大 加藤晴夫助教授 就任 (6 月)、退職(56年 1 月)
- 獨協医大 鈴木隆次郎講師 着任 (6 月)
- 自治医大 大原國俊講師 着任 (11月)
- ・ 自治医大 嶋田孝吉助教授、内藤誠講師 退職(56年 3 月)
- 開業 : 湯本 誠 (宇都宮市)
永田紀子 (宇都宮市)
矢尾板榮子 (今市市)

	加藤晴夫 (氏家町) 室本雅夫 (真岡市) ● 物故 : 加藤好夫 (氏家町 55.6.17) 松本 章 (藤岡町 55.12.16) 稲葉治三郎 (宇都宮市56.3.5)
昭56 (1981)	・ 5.24(日)栃眼医総会 (獨協医大) 第 1 回栃木県眼科集談会開催 (以降毎年春秋開催) 一般講演 10題 特別講演 ; 順天堂大 中島章教授、曲谷久雄講師、百瀬隆行先生 「コンタクトレンズの臨床応用」 (以降の栃木県眼科集談会(春季)記録は P 参照) ・ 栃眼医理事会 5 回開催 (4.21(火)、6.27(土)、8.21(金)、11.17(火) 、 57.2.23(火)稲葉眼科病院) ・ 10.18(日)第 2 回栃木県眼科集談会開催 (自治医大) 一般講演11題 特別講演 : 自治医大 沢 充 講師「角膜の臨床検査法」 (以降の栃木県眼科集談会(秋季)記録は P 参照) ・ 7.26(日)第 4 回獨協医大眼科栃眼医合同講演会 (獨協医大) 獨協医大眼科講演会を改称

	・ 11.10(火)第 1 回栃眼医親睦麻雀大会 (宇都宮市「竜」) (以後の記録は P 参照) ・ 10.18(日) 健保研究会をはじめて開催(第 2 回栃木県眼科集談会と併催、自治医大) ・ 視力回復センター対策として、県内小中高校あてに文書発送、待合室掲示用ポスターを全員に配布 ・ 日眼医会長 田中強氏 (東京) 就任 ○ 自治医大 沢 充講師 着任(4 月) ○ 自治医大 大原國俊助教授 就任(5 月) ○開業：多賀谷逸子 (小山市) - 山川高子 (宇都宮市) - 小暮正子 (宇都宮市) ● 物故：赤羽泰造 (足利市 5.25)
昭57 (1982)	・ 4.18(日)栃眼医総会、第 3 回栃木県眼科集談会 (獨協医大) ・ 栃眼医理事会開催 3 回 (6.29(火)、9.21(火)、58.1.25(火) 稲葉眼科病院) ・ 国保審査委員交代 柏瀬宗弘 → 宮下浩 ・ 日眼医役員改選：日眼医会長に 羽生田進氏 (群馬) ・ 7.10(土)11(日)第21回日本白内障研究会(小暮文雄会長)宇都宮市文化

	会館にて開催 7.10(土)大谷における懇親会を獨協医大と共催 7.11(日)第5回獨協眼科栃眼医合同講演会を白内障研究会終了後、宇都宮市文化会館にて開催 ○獨協医大 鈴木隆次郎助教授就任(4月) ○開業：鈴木 光(小山市) 福田順一(宇都宮市) ● 物故：室本亀吉(宇都宮市 8.16) ・ 日医会長 武見太郎氏退任、花岡堅而氏就任
昭58 (1983)	・ 4.17(日)栃眼医総会(獨協医大) ・ 栃眼医理事会 5回開催(6.14(火)、8.26(金)、11.8(火)稲葉眼科病院、59.1.24(火)宇都宮市医師会館、59.4.6(金)稲葉眼科病院) ・ 日眼医社団法人となる(4月) ・ 12.14(水)緑内障研究会(持田製薬主催当会後援、宇都宮ロイヤルホテル) 新潟大学 岩田和雄教授「緑内障に関する最近の話題」 ・ 白内障手術ビデオの会開催(S59.2.14(火)、2.28(火)、3.13(火)宇都

	宮市医師会館) ・ 県外某眼鏡量販店の県内におけるコンタクトレンズ取扱い問題への 対 策として * 栃眼医非医師医行為対策委員会開催 (6.21(火)、8.5(金)、9.20(火) 宇都宮市医師会館 * 県医師会、県医務課、薬務課に申し入れ (7 月) * 名義貸し医師への自粛申し入れ (7 月) * 県医師会あてに「名義貸し自粛のお願い」発送 (9 月) * 毎月 1 回下野新聞にCL意見広告掲載 (9 月より) * 目の愛護デーに朝日、読売、毎日 3 誌にCL意見広告掲載 (10 月) * 県内小中高校あてにCL啓蒙文書発送 (12 月) * CL眼障害例報告用紙作成し会員に配布 ○開業： 青木和加 (栃木市)
昭59 (1984)	・ 4.15栃眼医総会 (自治医大) 稲葉六郎会長 鈴木常千代副会長退任、吉沢清会長、早津尚夫、柏瀬宗弘 副会長就任 ・ 栃眼医事務局を稲葉眼科病院より早津眼科医院に移動 ・ 日眼医代議員に早津尚夫(総務常任委員も)、予備代議員 柏瀬宗弘 ・ 栃眼医理事会 6 回開催 (5.9(水)、7.11(水)、9.12(水)、11.16(金)、

60.1.16(水)、3.8(金) 宇都宮市医師会館) ・ 5.23(水)稲葉六郎名誉会長(前会長)、鈴木常千代顧問(前副会長)慰労会 (宇都宮口イヤルホテル) ・ 栃木県眼科集談会の会場を春季は自治医大、秋季は宇都宮市医師会館に変更 ・ 第 8 回日本眼科手術学会(小暮文雄会長 60.1.25(金)～27(日) 宇都宮市文化会館) に協力 ・ 第 9 回角膜カンファレンス (大原国俊世話人 60.2.16(金)～17(土) 日光金谷ホテル) に協力 ・ 栃木県アイバンク理事に清水昊幸、小暮文雄、早津尚夫就任 ・ 栃眼医非医師医行為対策委員会開催 10.23(火) 宇都宮市医師会館 ・ 栃木県眼科学校医実態調査 ・ 自治医大 沢 充講師 留学帰国講演会 (6.13(水) 宇都宮市医師会館) ○水流忠彦 自治医大講師 着任 (4 月) ・ 日眼専門医制度スタート ○開業：浅原典郎、浅原智美 (足利市) ● 物故：浜田徹治 (宇都宮市 60.2.1) ・ 日医会長に羽田春兔氏就任 (4 月) ・ 社保本人 1 割負担実施 (10月)

昭60 (1985)	・ 4.7(日)栃眼医総会 (自治医大) ・ 栃眼医理事会 6 回開催 (6.5(水)、7,16(火)、9,20(金)、11,20(水)、61,1,24(金)、3,12(水)宇都宮市医師会館) ・ 社保審査委員交代 三田政夫より吉沢清に ・ 栃眼医談話会開催 (第 1 回) 61.2.21 波奈正 ・ 栃眼医のあり方に関するアンケート調査実施 ・ 日本眼科医連盟設立 (6 月) 、決起大会 (10 月) ・ 7.28(日)栃眼医臨時総会(獨協医大 第 8 回獨協眼科栃眼医合同講演会と併催) - 特別講演：宮本吉郎日眼医常任理事「最近の眼鏡コンタクトレンズ問題」 ◎ 石崎道治 獨協医大講師 日眼医学術助成祝賀会開催 (4.26(金)陽南荘) ○石崎道治、千葉桂三獨協医大講師就任 (6 月) ・ 千葉桂三、坪田一男両先生ボストンへ留学 (7 月) 62.6まで ○ 自治医大 坂西良講師就任 (4 月) ○開業：原 裕、原道子 (大田原市) ● 物故：稲葉六郎 (宇都宮市 60.12.20) ・ IOLを医療用具「人工水晶体」として厚生省が認可
---------------------------	--

昭61 (1986)	・ 4.13(日)栃眼医総会 (自治医大) ・ 日眼医代議員 1 名増となり、柏瀬宗弘代議員に、原博、稲葉光治予備代議員に就任 ・ 日眼医会長に 有沢武氏 (兵庫) 就任 ・ 栃眼医役員改選、理事室本雅夫に代り関本俊男就任 ・ 栃眼医理事会 6 回開催 (5.14(水)、7.9(水)、9.10(水)、11.7(金)、 6 2.1.21(水)、3.18(水) 1 月のみ救急医療センター、他は宇都宮市医 師会館) ・ 社保審査委員交代 三田政夫 → 吉沢清 ・ 第 回日本網膜剥離学会 (清水昊幸会長、東京) に協力 ・ 第 5 回関東眼科学会、第 4 回日韓眼科ジョイントミーティング、第24回関東甲信越眼科学会合同打合せ会 (12.2(火) 宇都宮グランドホテル) ・ 栃眼医談話会(第 2 回)開催 (11.28(金)小山市思水荘) ・ 「目の愛護デーによせて」下野新聞寄稿開始 第 1 回早津尚夫(10月1 2 日) (以降の記録は P 参照) ・ 「目の愛護デーについて」栃木放送出演 (早津副会長) ・ 県医会長に 片山一郎氏 就任 (4 月) ・ 献眼顕彰碑建立 (宇都宮市八幡山) ○開業：室本雅夫 (宇都宮市) ● 物故：三田政夫 (黒羽町 6.1)
--------------------------	--

	小林千里 (宇都宮市 8.29) 斎藤三郎 (佐野市 10.12)
昭62 (1987)	・ 4.12(日)栃眼医総会 (自治医大) ・ 栃眼医理事会 5 回開催 (5.20(水)、7.22(水)、9.9(水)、12.9(水)、2.17(水) 12月のみ小山市思水荘、他は宇都宮市医師会館) ・ 3 学会準備委員会開催、(6.2(火)、9.25(金)、63.1.8(金)、3.4(金) 獨協医大) ・ 第24回関東甲信越眼科学会準備委員会開催 (8.9(水)、11.6(金)、63.1.26(火)、3.16(水) 1 月のみ宇都宮市グランドホテル、他は宇都宮市医師会館 ・ 7.3(金) 坪田、千葉両先生帰国講演会「アメリカにおける最新の医療状況」(宇都宮市医師会館) ・ 12.5(土)下野ビルサージセミナー (獨協医大) ・ 目の愛護デー記念行事目の無料相談開催 (10月10日(土)宇都宮東武デパート) ・ 事前打合せ会 9.29(火) 宇都宮東武デパート 8Fニュートーキョー、反省会 10.10(土)中村 (以後の目の愛護デー行事記録は P 参照) ・ 栃眼医「献眼重点診療の日」実施 (9 月より)

	・ 10.31(土)「日本の眼科」移動編集委員会に出席 (鬼怒川金谷ホテル) - 吉沢、早津、柏瀬、稲葉 ・ 社保審査委員交代 吉沢清より田口太郎に ◎ 日眼医定例総会おける会長表彰：石川俊郎、糸井新次郎、柏瀬茂、 中島十寸穂、成海朝輝 ○ 自治医大 山本裕子助教授就任 (4 月) ・ 自治医大 坂西良彦講師辞職 (9 月) ・ 獨協医大 吉田顕照助手 ポストン留学 (2 年間) ● 物故：渡辺昭司 (宇都宮市 4.5)
昭63 (1988)	・ 4.17(日)栃眼医総会 (自治医大) ・ 栃眼医理事会 6 回開催 (5.18(水)、3.15(水)、7.6(水)、9.7(水)、 11.9(水)、H1.1.18(水)、3.15(水)宇都宮市医師会館) ・ 第 5 回関東眼科学会(関亮会長)第 4 回日韓眼科ジョイントミーティング(小暮文 雄世話人)第24回関東甲信越眼科学会(吉沢清会長)開催(5.27(金)28日 (土)29日(日)宇都宮市文化会館) - 第24回関東甲信越眼科学会 1 . 独協医大 鈴木隆次郎助教授「糖尿病と目」 2 . 自治医大 清水昊幸教授「新しい概念の網膜疾患」 3 . 前日眼医副会長佐野充先生「日本の眼科医療の将来像」

	・ 3 学会合同打合せ会 4.8(金) 5.11(水) 独協医大 ・ 関東甲信越眼科学会準備委員会および打上げ会 4.27(水)救急医療センター - 5.18(水)宇都宮グランドホテル 6.8(水)宇都宮ロイヤルホテル ・ 12.7(水)栃眼医談話会兼忘年会 (ホテルニューイタヤ) ・ 栃木県眼科医会報創刊号発行 (12月) 栃眼医会報編集委員会 9.28(水)救急医療センター- 11.4(金)独協医大 ・ 国保審査委員交代、宮下浩より原孜へ (平成元年 1月) ・ 日眼医会長に長屋幸郎氏 (愛知) 就任 ・ IOL保険給付外として保険診療上の取扱い可能となる (4月) ・ 自治医大 澤 充講師 東大角膜移植部助教授として転出 (6月) ・ 日眼医「日本の眼科」編集委員に鈴木隆次郎就任 (平 4 まで) ◎ 日眼医会長表彰：原蕃、原孜 ○独協医大 平岡利彦、横田章夫講師就任 ○開業：原 正 (真岡市) 城山力一 (壬生町) 大原 麗 (西那須野町)
平成元年 (1989)	・ 4.9(日)栃眼医総会 (自治医大) 吉沢清会長退任、会長に早津尚夫、副会長に柏瀬宗弘、田口太郎就任 理事交代 (退任) 原博、斎藤明郎

(新任) 井上成紀、小西恒夫、福田順一、小暮正子、鈴木光

、

大久保彰、千葉桂三、柳沢仍子

- ・ 社保審査委員交代 鈴木常千代 → 田島幸男
- ・ 栃眼医理事会 6 回開催 (5.17(水)、7.19(水)、9.20(水)、11.15(水)、
2.1.17(水)、3.7(水) 宇都宮市医師会館)
- ・ 6.14(水)吉沢前会長慰労、関亮先生藍綬褒章、坪田一男先生日眼医受
賞祝賀会 (宇都宮市医師会館)
- ・ 4.26(水)新税制研究会 (宇都宮市医師会館) 講師参天製薬眼科経営相
談室長 村山三郎氏「新税制への眼科医の対応」
- ・ 栃眼医会則および施行細則制定
会則検討委員会 8.23(水) 宇都宮市医師会館
- ・ 10.9(月)近隣諸国眼科医との懇談会 (宇都宮市おおき)
- ・ 第 1 回日眼専門医認定試験 (7 月)
- ・ 12.8(金)栃眼医忘年会 (宇都宮市医師会館)
- ・ 独協医大関亮教授退職 (2 年 3 月)
- ◎ 日眼医会長表彰：鈴木常千代
- ・ 独協医大 太田誠一郎助手 ポストン留学 (2 年間)
- ◎ 独協医大 関亮教授 藍綬褒章受章 (4 月)
- ◎ 国立栃木病院 坪田一男先生 日眼医学術振興助成受賞

	○ 自治医大 大久保彰講師 就任 (4 月) ● 物故 : 糸井新次郎 (6.17) 柏瀬 茂 (2.2.16)
平成 2 年 (1990)	・ 4.15(日)栃眼医総会 (自治医大) - 栃眼医会則成立 ・ 栃眼医理事会 6 回開催 (5.16(水)、7.18(水)、9.19(水)、11.21(水)、3.1.16(水)、3.6(水) 宇都宮市医師会館 ・ 日眼医予備代議員交代 原博 → 田口太郎 ・ 社保審査委員増員 小西恒夫就任 (6 月) ・ 独協医大主任教授に 小暮文雄氏就任 (4 月) ・ 4.6(金) 関亮教授慰労、小暮文雄教授就任祝賀会開催 (宇都宮市医師会館) ・ 「銀海」に眼科医会風土記 (栃木県) 掲載 ・ 第14回日本眼科手術学会(清水昊幸会長)開催(3.1.24(金)25(土)大宮ソニックシティ) に協力 ・ 第 1 回下野談話会開催 (独協医大萬有製薬共催、当会後援、3.3.12(火) ホテルソルト栃木) (以降の下野談話会記録は P 参照) ・ 3 才児眼科健診実施への協力

	県健康対策課と打合せ (8.29(水)、10.3(水)) 県医師会、小児科医会、耳鼻科医会との打合せ (10.11(木)、12.17(月)、 3.1.28(月) 各都市医師会代表への説明会 (3.2.20(水)県医師会) ・ 3.1.11(金)栃眼医新年会 (ホテルニューイタ) ・ 日医会長に村瀬敏郎氏就任 ・ 独協医大 石崎道治講師 サンフランシスコ留学 (1年間) ○ 自治医大 林みゑ子講師 着任 (4月) ◎ 日眼医会長表彰：大兼俊治、斎藤重弘 ○開業：大野研一 (佐野市) 宮沢敦子 (真岡市) ● 物故：中島十寸穂 (西方町 11.18)
平成 3 年 (1991)	・ 4.14(日)栃眼医総会 (自治医大) ・ 栃眼医理事会 6 回開催 (5.23(水)、7.17(水)、9.18(水)、11.20(水)、4.1.17(水)、3.25(水) 宇都宮市医師会館 ・ 第30回日本白内障学会、第 6 回日本眼内レンズ学会 (小暮文雄会長、6.14(金)～16(日) 宇都宮市文化会館) に協力 ・ 第14回独協医大眼科栃眼医合同後援会は日本眼内レンズ学会終了後 同 会場にて開催、同日同時間帯に市民公開講座開催

	1 . 千葉桂三独協医大講師「角膜移植について」 2 . 林文彦日本眼内レンズ学会理事長「眼内レンズについて」 ・ 第28回日本感染症学会 (嶋田孝吉会長、7.13(金)～15(日) 東京医大) に協力 ・ 3才児眼科健診実施 3才児健診(眼科・耳鼻科)に関する検討会 6.5(水)県医師会 ・ コンタクトレンズ 量販店対策 フレホメガネ泉が丘店のCL取扱いに関し宇都宮保健所に要望書提出 ◎ 日眼医会長表彰：早津尚夫 ◎ 勲四等瑞宝章受章：鈴木常千代 ○ 自治医大 伊野田繁、釣巻穰講師 就任 (4月) ○開業：旭 英幸 (宇都宮市) 斎藤春和 (小山市) 山口康三 (国分寺町) 吉沢徹、吉沢浩子(鹿沼市) ● 物故：関本 進 (市貝町 9.29)
平成 4 年 (1992)	・ 4.26(日)栃眼医総会 (自治医大) ・ 栃眼医理事会 6 回開催 (5.20(水)、7.15(水)、9.16(水)、11.18(水)、 5.1.20(水)、3.17(水)

	・ 6.26(金)～28(日)第48回日本弱視斜視学会 (山本裕子会長 大宮ソニックシティ) に協力 ・ 5.29(金)自治医大眼科18周年、清水昊幸教授還暦祝賀会(大宮パレスホテル) ・ 県医師会結核感染症サバイブス解析評価委員会に眼科代表も出席要請される (月 1 回) ・ 日眼医役員改選：会長に上岡輝方氏 (神奈川) 就任 ・ 日眼医眼科スタッフ委員、日眼医OMA資格化検討委員長に早津尚夫就任 ・ 日眼医創立60周年記念式典 (10月) ・ 11.8(日)臨眼運営委員会にて平成7年度(第19回)日本臨床眼科学会の総会長小暮文雄教授、世話人早津尚夫が決定 ・ 自治医大 水流忠彦講師 東大角膜移植部助教授として転出 (6月) ・ 独協医大 平岡利彦講師 ワシントン大留学 (2年間) ・ IOLの費用が所定点数含まれる形で眼内レンズ挿入術8,000点新設、白内障手術との併施の場合16,100点と決定 ◎ 日眼医会長賞：鈴木常千代 ○開業：木村 純(宇都宮市)
平成5年 (1993)	・ 4.25(日)栃眼医総会 (自治医大) ・ 栃眼医役員交代

	理事 退任：久保田芳雄、柳沢仍子、大原國俊、関本俊男 新任：永田紀子、原正、菊池武邦、林みゑ子、釣巻穰 監事 退任：木村弘一 新任：久保田芳雄 ・ 栃眼医理事会 6 回開催 (5.21(金)、7.21(水)、9.22(水)、11.17(水)、6.1.19(水)、3.16(水)) ・ 臨眼学会準備委員会(第 1 回)6.29(水)ホテルフェアシティ ・ 社保審査委員交代 田口太郎、田島幸男に代り久保田芳雄、青木和加就任 (6 月) ・ 自治医大大原国俊助教授 大宮医療センターに転出 - 送別会開催(4.13(火)) 宇都宮市ホテル ・ 9.30(木)WHO西太平洋地域失明予防ワークショップ°(県総合文化センター)に協力 、 懇親会(宇都宮東部ホテルグランド)を主催 ・ 独協医大 横田章夫講師辞職 (6 年 3 月) ○ 自治医大 茨木信博講師 就任 (4 月) ○ 自治医大 林みゑ子助教授 就任 (5 月) ○開業：広瀬裕子 (真岡市) ● 物故：石川俊郎 (栃木市 7.13)
平成 6 年	・ 4.24(日)栃眼医総会 (自治医大)

(1994)	・ 栃眼医理事会 6 回開催 (5.18(水)、7.20(水)、9.21(水)、11.16(水)、 7.1.78(水)、3.22(水)宇都宮市医師会館) ・ 日眼医役員改選：会長に佐野七郎氏 (東京) 就任 ・ 日眼医理事に早津尚夫就任 (平成 8 年まで) ・ 日眼医代議員予備代議員交代 - 代 議 員 早津尚夫 → 田口太郎 - 予備代議員 田口太郎 → 斎藤武久 ・ 日眼医代議員会総務常任委員交代 早津尚夫 → 柏瀬宗弘 ・ 臨眼学会準備委員会(第 2 回) 7.3.8 宇都宮東武ホテルグランド ・ 国保審査委員交代 福田順一 → 原孜 ・ 目の愛護デー行事会場変更、この年から宇都宮市保健センターに ・ 目の健康講座開始(第 1 回)独協医大 小暮文雄教授「目の成人病について - 白内障を中心に - 」 (以降の「目の健康講座」の記録は P 参照) ・ 栃眼医眼科手術談話会開催(第 1 回) 7.3.30(木) 国立栃木病院 (その後の記録は P 参照) ○ 自治医大 川島秀俊講師着任 (9 月) ○独協医大 須田雄三講師就任 (4 月) ・ 独協医大 松島博之助手 ワシントン大留学 (2 年間) ○開業：安藤 緑 (足利市) - 大久保好子 (宇都宮市)
----------	---

	● 物故：大屋吉司 (葛生町 4.20)
平成 7 年 (1995)	・ 4.16(日)栃眼医総会 (自治医大) ・ 栃眼医役員交代 (副会長) 辞任 田口太郎 - 新任 稲葉光治 (理 事) 辞任 阿久津行永、田島幸男、福田順一、釣巻穰 - 新任 青木和加、原裕、城山力一、伊野田繁 (監 事) 辞任 湯本誠 - 新任 田口太郎 ・ 栃眼医理事会 6 回開催 (5.24(水)、7.19(水)、9.20(水)、11.15(水)、8.1.17(水)、3.22(水)) ・ 第49回日本臨床眼科学会開催(小暮文雄会長、早津尚夫世話人 11.10(金)～12(日)県総合文化センター他) - 臨眼準備委員会開催 7.12(水)、10.6(金)宇都宮グランドホテル、10.27(金)ハート内北京 - 一般懇親会開催 11.10(金)宇都宮グランドホテル ・ 小暮文雄独協医大教授退職 (8 年 3 月) - 小暮教授送別会 (3.27(水)ホテルニューイタヤ ・ 社保国保審査委員交代

	社保 青木和加、小西恒夫 → 原裕、矢尾板榮子 国保 福田順一 → 原孜 ・ 栃木県アイバンク設立20周年式典並びに慰霊祭 (10.15(日)) ・ 献眼募金箱を各眼科受付に設置 ○ 自治医大 釣巻穰講師 退職 (5 月) 茨木信博講師 退職 (8 月) ○自治医大 山上聡講師 着任 (6 月) ・ コンタクト安売り広告対策 栃眼医医療対策部会 10.18(水) 宇都宮市医師会館 ○開業：小倉 修 (佐野市) 中丸周一 (宇都宮市) 苗加謙応 (宇都宮市)
平成 8 年 (1996)	・ 4.21(日)栃眼医総会 (自治医大) 栃眼医会則および施行細則一部改正 ・ 栃眼医理事会 6 回開催 (5.22(水)、7.17(水)、9.18(水)、11.20(水)、9.1.29(水)、3.26(水)) ・ 日眼医眼科医療従事者委員に早津尚夫就任 (4 月) ・ 国保審査委員交代 原孜 → 稲葉光治 (1 月) ○独協医大 小原喜隆教授就任 (4 月) 小原教授就任祝賀会 6.14(金)宇都宮東武ホテルグランデ

	・ 栃木県緑内障カンファレンス (萬有製薬主催 当会後援 11.15(金)ホテルニューイタヤ) 1 . 新潟大学助教授 沢口昭一先生「正常眼圧緑内障の管理」 2 . 自治医大助教授 林みゑ子先生「緑内障治療薬の実際 - 現在そして未来 - 」 ◎ 日眼医表彰 感謝状 小暮文雄、早津尚夫 会長表彰 石井章次、柏瀬宗弘 ・ 日眼創立100周年 ・ 日眼医C会員の資格が国試合格後2年未満より5年未満に、会費免除年齢77才以上より80才以上に改正 ・ 独協医大 平岡利彦講師辞職 ○開業：猪ノ坂貴子 (足利市) 井廻万里 (宇都宮市) ・ 日医会長に 坪井栄孝氏 (福島)
平成9年 (1997)	・ 4.20(日)栃眼医総会 (自治医大) ・ 栃眼医役員交代 理事 辞任 原孜、青木和加 新任 旭英幸、吉沢徹 監事 辞任 久保田芳雄 新任 原孜

	・ 栃眼医理事会 6 回開催 (5.21(水)、7.16(水)、9.17(水)、11.19(水)、10.1.21(水)、3.18(水)) ・ 社保審査委員交代 久保田芳雄 → 早津尚夫 ・ 第34回関東甲信越眼科学会準備委員会 6.18(水)、10.29(水) 宇都宮市医師会館 7.23(水)宇都宮東武ホテルグランド ・ 栃眼医保険診療講習会開催 (9.26(金)、10.22(金) 宇都宮市医師会館) ◎ 日眼医会長表彰：浅原うた子 ・ 自治医大 清水昊幸教授、山本裕子助教授退職 (3 月) 清水教授、山本助教授送別会 (3.20(金)宇都宮ロイヤルホテル) ○独協医大 吉田紳一郎講師着任 ・ 自治医大 茨木信博講師退職 ○開業：藤野由起子 (宇都宮市) 深井 徹 (足利市) ● 物故：深井 清 (足利市 9.7) 福田順一 (宇都宮市 11.26) 斎藤重弘 (黒磯市 10.2.26) ・ 健保本人 2 割負担実施 (9 月)
平成10	・ 4.12(日)栃眼医総会 (自治医大)

年 (1998)	・ 栃眼医理事会 6 回開催 (5.13(水)、7.22(水)、9.16(水)、11.11(水)、11.1.20(水)、3.17(水)) ・ 日眼医代議員交代 田口太郎 → 稲葉光治 - 予備代議員交代 稲葉光治 → 加藤晴夫 ・ 第34回関東甲信越眼科学会 (早津尚夫会長) 開催 (11.14(土)15(日) 県総合文化センター、宇都宮東武ホテルグランデ) 1 . 自治医大 水流忠彦教授「屈折矯正手術をめぐる話題」 2 . 独協医大 小原喜隆教授「白内障の術後管理」 3 . 日眼医 佐野七郎会長「これからの眼科医療」 - ほかに眼科医療従事者講習会(栃木会館小ホール)、懇親会(宇都宮東武ホテルグランデ)、ゴルフ(宮の森C.C)、関プロ支部長会、連絡協議会、審査委員健保担当理事連絡会、勤務医委員会、広報、学校保健、医療対策各担当理事連絡会(宇都宮東武ホテルグランデ)、観光「陶芸の里益子めぐり」 ・ 関東甲信越眼科学会準備委員会 5.27(水)、6.24(水)、9.9(水)、9.20(日)、10.14(水)、11.11(水) 6月10月は宇都宮東武ホテルグランデ、9月 は県総合文化センター、他は宇都宮市医師会館 ・ 栃木県緑内障研究会(参天製薬と共催) 7.3(金) ホテルニュー伊勢 1 . 群馬大 木村保孝助教授「緑内障と眼内循環」 2 . 日大板橋病院 山崎芳夫講師「緑内障の薬物治療」
--------------------------	--

	○自治医大 水流忠彦教授着任 (4 月) 水流教授就任祝賀会 6.12(金) 宇都宮東武ホテル ランデ ○ 自治医大 伊野田繁助教授 就任 (6 月) 清水由花、牧野伸二講師 就任 (4 月) ・ 独協医大 鈴木隆次郎助教授退職 (5 月) 鈴木助教授退職記念パーティ 6.26(金) 宇都宮東武ホテル ランデ ・ 日眼医眼科医療従事者委員交代 早津尚夫 → 柏瀬宗弘(14年まで) ・ 国保審査委員増員 水流忠彦就任 ○開業：高橋直人 (岩舟町) 井岡大治 (足利市) 落合憲一、落合万理 (石橋町) 福島一哉 (宇都宮市) ● 物故：清水昊幸名誉教授 (6.26) 大兼俊治 (茂木町 11.1.25) ・ 県医会長に宝住与一氏
平成11 年 (1999)	・ 4.11(日)栃眼医総会 (自治医大) ・ 栃眼医役員交代 理事 辞任 原正

新任 広瀬裕子

- ・ 栃眼医理事会 6 回開催 (5.19(水)、7.21(水)、9.8(水)、11.17(水)、12.1.19(水)、3.22(水))
- ・ 5.28(金)トルソプト発売記念学術講演会 (萬有製薬主催、当会後援、
栃東日本宇都宮)

新潟県立がんセンター 難波克彦先生「乳頭陥凹拡大と視神経乳頭の大きさ」
- ・ 9.24(金)レスキュラ発売 5 周年記念講演会 (藤沢薬品主催、当会後援、
栃東日本宇都宮)

東大 新家真教授「PG関連物質 - 緑内障治療における位置づけ - 」
- ・ 10.15(金)ハイパジールコーワ発売記念講演会 (萬有製薬主催、当会後援、
栃東日本宇都宮)

横浜市立大 内尾英一助教授「眼アレルギー-疾患の薬物療法」
- ・ 11.14(日)第22回栃眼医研究会(会員および医療従事者ための7°プログラム
として主に眼科医療従事者向けの講習会(第 1 回)として開催)

(2 回目以降の記録は P 参照)
- ・ 栃木県社保国保審査委員連絡会開催 6.18日(金)、12.17(金)。以後毎年 2 回開催とする
- ・ 栃木県糖尿病診療情報提供書作成配布

糖尿病網膜症対策委員会開催 (7.28(水)、9.29(水)宇都宮市医師会館

	) ・ 自治医大 川島秀俊講師 退職 (8 月) ・ 自治医大 林みゑ子助教授退職 (送別会 11.3.15(水)自治医大) ○独協医大 石崎道治助教授就任 (6 月) ◎ 日眼医会長表彰：店網淳子 ○開業：斎藤哲也 (栃木市) 大久保彰 (宇都宮市)
平成12 年 (2000)	・ 4.23(日)栃眼医総会 (自治医大) ・ 栃眼医理事会 6 回開催 (5.17(水)、7.19(水)、9.22(水)、11.15(水)、13.1.17(水)、3.14(水)) ・ 栃木眼科ミナ-(第 2 回)(自治医大眼科、興和新薬共催、当会後援、9.8 (金)宇都宮東武ホテルグランデ) 1 . 新潟大学眼科 阿部春樹教授「緑内障治療の最近の進歩」 2 . 秋田大学眼科 桜木章三教授「実験的ぶどう膜炎の免疫学」 (第 3 回以降の記録は P 参照) ・ ケタス点眼液発売記念学術講演会(千寿製薬主催、当会後援、5.12(金)宇都宮東武ホテルグランデ) ・ 慶応大 真島行彦助教授「翼状片に対する外科的治療」 ・ 栃木眼科学術講演会(ファルシア・アツマジヨ主催、当会後援、11.10(金)宇

	都宮東武ホテル(ラunde) 1 . 北里大 鈴木雅信講師「屈折矯正手術の最近の話題」 2 . 新潟大 福地健郎講師「緑内障薬物治療の最前線」 ・ 日本網膜色素変性症協会JRPS栃木支部設立総会 (8.6(日)宇都宮市総合福祉センター) ・ 厚生労働省がエキシマレーザー装置のPRKに対する使用を認可 (1 月) ・ 点数改訂でPEAをIOL挿入術併施の際安い方の点数が1/2となる (4 月) ○独協医大 妹尾正講師就任 (4 月) ○自治医大 小幡博人講師着任 (4 月)
平成13 年 (2001)	・ 4.8(日)栃眼医総会 (自治医大) ・ 栃眼医役員交代 理事 辞任 中静隆、小西恒夫、小暮正子 新任 浅原典郎、木村純、苗加謙応 ・ 栃眼医理事会 6 回開催 (5.16(水)、7.18(水)、9.12(水)、11.21(水)、14.1.16(水)、3.20(水)) ・ 社保審査委員交代 原 裕、矢尾板榮子 → 永田紀子、千葉桂三 ・ 県、中学高校現場におけるコンタクトレンズ実態調査実施 (4 月 ~ 6 月) ・ 石崎道治 独協医大助教授退職 (4 月)

	石崎助教授退職記念パーティ 4.24(火)宇都宮東武ホテル ランデ ○独協医大 吉田紳一郎助教授就任 (6 月) ○自治医大 原 岳講師着任 (4 月) ○開業 : 石崎道治 (壬生町) 蘇 沽訓 (小山市) ● 物故 : 吉沢 清 (鹿沼市 5.26) 木村弘一 (宇都宮市 8.1)
平成14 年 (2002)	・ 4.14(日)栃眼医総会 (自治医大) ・ 栃眼医理事会 6 回開催 (5.14(水)、7.17(水)、9.18(水)、11.20(水)、 15.1.15(水)、3.12(水)) ・ 眼科保険審査委員候補者推薦委員会開催 (10.4(金)宇都宮市医師会館) ・ 国保審査委員交代 稲葉光治 → 亀卦川みどり (1 月) ・ 自治医大 伊野田繁助教授、清水由花講師退職 (12月) 伊野田、清水両先生送別会 (12.10(火)宇都宮グランドホテル) ・ 自治医大 山上聡講師 東大助教授として転出 (5 月) ○自治医大 森 樹郎講師着任 (6 月) ○国際医療福祉大保健学部視機能療法学科新設 (4 月)

同大に新井田孝裕教授、山田徹人助教授着任

○独協医大 妹尾 正助教授就任 (8 月)

・ 日眼医創立70周年記念式典

◎ 勲四等瑞宝章受章：浅原うた子 (11月)

◎ 内閣総理大臣章受章：原 博 (12月)

○開業：柏瀬光寿 (足利市)

早津宏夫 (宇都宮市)

伊野田繁、清水由花 (黒磯市)

● 物故：鈴木常千代 (小山市 6.2)

浅原うた子 (足利市 15.2.4)